

次、８番菊池伸也議員の発言を許します。

〔８番 菊池伸也議員 登壇〕

○８番（菊池伸也議員） ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、通告に従いまして順次質問いたします。

最初に、産業振興について、観光行政の確立について３点お伺いいたします。本市の産業は農業を主とした第一次産業が基幹産業であります。著しく少子・高齢化の進んでいる状況では、将来において基幹産業の存続さえ危ぶまれるようなことも十分に考えられます。そういう状況下におきましても、観光事業の活性化は本市の発展に大きく貢献することは間違いないと思っております。

そこで、①の本市の観光行政において、交流人口拡大に向け、新たな政策、取り組みについてお伺いいたします。本市には、観光拠点と呼ばれる場所は、竜神ダム湖の上にかかる竜神大吊橋を初めとする奥久慈自然公園、プラトーさとみ、西山荘、佐竹氏や徳川家にかかわる神社仏閣など数多く残っております。また、ジオパーク等についても今後期待が持てるものと思います。そして忘れてならないのが、太田地区の鯨ヶ丘の歴史的建造物であります。ただ、こうした歴史的建造物や自然景観にしがみついただけの観光地や、単に温泉が出るというだけの観光地では、その集客数の減少に歯止めがかけられないと思います。

以前にも申し上げましたが、今の観光客は歴史的建造物や自然景観を見ただけでは満足しません。そして、その土地、そのときにしかできない体験をして、おいしいものを食べ、ゆったりとした旅館に泊まり、気のきいたお土産を買うことができれば満足度がアップし、リピーターとしての期待につながるのではないかと思います。そこで、本市の観光産業をどのようなお考えのもとに観光客の誘客や交流人口の拡大を図る計画なのかお聞かせ願います。

次に、２点目ですが、竜神大吊橋の魅力アップに係る取り組みについてお伺いいたします。ご承知のように、竜神大吊橋におきましては長期間にわたり、春のこいのぼり祭り、夏の灯籠祭り、秋のもみじ祭り、冬のそば祭り等のイベントに力を入れてきましたが、竜神大吊橋を渡るだけでは観光客にとってそれほどの満足度は高くないようです。観光案内のボランティアなどのときに、旅行会社のガイドさんに指摘をされることがたびたびあります。それは、竜神大吊橋を渡った先に何もないということであります。そこで取り組んでいただきたいのが、竜神大吊橋の正面の小高い山の山頂に展望台設置を検討して、ぜひとも実現していただきたいと思っておりますので、執行部の考えをお伺いいたします。

参考までに申し上げておきますと、竜神大吊橋正面の小高い山の上は、「高倉城」あるいは「竜ヶ井城」とも呼ばれておりまして、今もなお城の面影をとどめていると言われております。この場所につきましては、鎌倉時代のころ国井経義氏がこの地を領して、後に高倉氏を名乗り、ここに館を築いて居住したのが始まりと伝えられております。

次に、３点目ですが、佐竹寺及び馬坂城跡観光用駐車場とトイレの課題の取り組みについてお伺いいたします。以前の議会でも申し上げましたが、本堂が国の重要文化財の指定を受けている佐竹寺については、坂東三十三番霊場にも当たることから巡拝者が絶えない古刹としても

広く知られており、常陸太田市が誇る貴重な文化財の1つであります。ここは一度訪れてみたくなるような紹介をされておりますので、行かれた方はご存じだと思いますが、佐竹寺の駐車場は大変狭くトイレは汚いありさまです。佐竹寺の近くには、佐竹氏が奥七郡に基盤を作る足がかりの地として、佐竹氏の歴史を考える上で避けては通れない馬坂城跡があります。そして、現在世の中は歴女に代表されるように、歴史に興味を示し史跡巡りをされている方が数多くおります。

当時の茨城新聞「県民の声」に、那珂市の団体職員の方が「史跡見学者に施設整備急ごう」の見出しで投稿されました文書の中に、馬坂城と周辺、佐竹寺、坂のある町で有名な中心地散策を主とした企画に参加されたときに感じられたことが書かれてあり、そして最後に、史跡見学者のための駐車場対策、トイレの改善が早急に必要だと指摘をされておりました。

当時産業部長は、地権者の協力を得られるよう鋭意努力をされることを議会でご答弁されましたが、いまだに実現には至っていないのが現状であります。本件について、観光事業を推進する立場としての執行部のお考えをお聞かせ願います。

次に、道路行政についてであります。まず、幹線道路整備について2点お伺いいたします。

1点目は、県道とグリーンラインの取り付け及びグリーンラインの整備、進捗状況と完成予定についてお伺いいたします。本市にかかわる武生線、水根持方線については、平成26年度までに完成予定と伺っておりますが、2路線の進捗状況についてと武生線と県道33号線の取り付け道路についてどのようなになっているのか。そしてこの2路線の工事に際しての問題点はあるのかどうか。あるとすれば、解決に向けてどのようなご努力をなされているのか、あわせてお聞かせ願います。

次に、国道461号の進捗状況についてお伺いいたします。常陸太田大子線と呼ばれている県道33号線と国道461号を結ぶ路線に関しては、急ピッチで工事が進められております。しかし聞くとところによると、地権者との同意が未定の箇所もあるようです。本市にかかわる部分での工事の進捗状況と、さらに水府・里美間の路線部分を含め、今後の計画の問題点と全工程の完成予定をお聞かせ願います。

次に、生活道路整備について1点お伺いいたします。山田川にかかる桜沢橋のかけかえ工事と県道33号線の取り付け道路の改良工事についてお伺いいたします。この道路は県道との取り付けが非常に鋭角で車での出入りには常に危険が伴っております。さらに、一級河川の山田川にかかっている桜沢橋については非常に狭く、老朽化しております。大雨のときなどは、山田川の水の勢いに桜沢の水の流れが遮断されるようになる場合もあり、取り付け道路や橋の上まで冠水して通行どめになったこともたびたびあります。防災上の点からも早急な整備が必要であると思っております。

この県道との取り付け道路及び桜沢橋の工事要望書については、合併当初の平成16年に天下野町2区と天下野町3区の町会長さんが、どのような道路改良をするかを含め、行政指導のもと地権者の同意を取り付け、市に要望書を提出したことは、以前の一般質問で述べたとおりであります。その際のご答弁では、過疎地域自立促進事業が終了することから国の橋梁長寿命化修繕計画策定事業補助制度を活用し、点検・調査結果に基づき、平成23年にかけてかけかえを含めた長寿命

化計画を作成し、これに基づき整備を進めるということでありました。また、この地区には未整備の市道があることから、地域全体の整備計画を策定し、その中で取り付け道路の整備を検討していくとのことご答弁であったと思います。

そこで改めてお伺いいたします。現在、山田川にかかる桜沢橋のかけかえ工事と、大変危険で利用しづらい県道33号線との取り付け道路の改良工事については、執行部におかれましてはどのような考えのもとに進めていただけるのかどうかお聞かせ願います。

以上で1回目の質問を終わりにします。

○後藤守議長 答弁を求めます。産業部長。

〔井坂孝行産業部長 登壇〕

○井坂孝行産業部長 観光行政の確立について、1点目の本市の観光行政において交流人口拡大に向けた新たな施策取り組みについてのご質問にお答えいたします。

今年度の新たな取り組みとしましては、昨年度、移住交流推進事業において、専門学生より提案された体験交流型旅行商品をこの10月に2つのツアーとして実施してまいります。また、里美・水府地区の体験交流施設、あるいは金砂ふるさと体験交流施設「かなさ笑楽校」や来年4月に移管されます西山研修所等を利活用した新たな魅力あるメニュー作りを今定例会において提案しております「緑の分権改革」事業の中で、地域住民を取り組んだ体験型、あるいは滞在型の観光商品の開発に積極的に取り組んでまいります。

また、茨城空港を活用し、国内はもとより中国や韓国、台湾といった海外からの観光客の誘客につきましても、県や関係機関、他の自治体と連携し、積極的に観光交流人口の拡大を推進してまいります。

次に、竜神大吊橋の魅力アップに係る取り組みについてお答えいたします。魅力アップの1つとしまして、昨年度に対岸のアンカレッジ脇に展望スペースを整備し、春のこいのぼり祭りや夏の灯籠祭りの際には、多くの観光客が展望スペースから眺望を楽しんでいただいたところであり、今年度につきましても吊橋の塗りかえを初め、歩道部分の打ちかえ、アンカレッジの模様がえを行い、観光客の誘客を図ってまいりたいと考えております。

今後も奥久慈グリーンライン林道の開通に合わせた竜神大吊橋周辺の自然環境や景観との調和を重視しながら、来訪者がゆったり過ごし、竜神峡の自然環境が眺望できる展望スペース等の整備を検討し、魅力アップに努めてまいります。

次に、佐竹寺及び馬坂城跡の観光用駐車場とトイレの課題への取り組みについてのご質問にお答えいたします。このことにつきましては、今年第1回の定例会におきまして答弁申し上げましたが、整備につきましては、所有管理者並びに地域の理解と協力体制をいただくため、協議、検討を重ねてきたところではありますが、まだ整備されていない状況であります。今後も地域の方々と継続して話し合いを行いながら、関係機関と連携を図り計画的な整備を検討してまいります。

次に、奥久慈グリーンライン林道の整備状況と進捗状況についてお答えいたします。奥久慈グリーンライン林道整備事業につきましては、当初、平成7年度から平成16年度までの10カ年の計画でありましたが、平成10年度に事業計画の見直しを行い、平成20年度までの計画変更

となりました。さらに平成１７年度に工期期間の短縮と事業費の削減を図るため、全体計画の見直しを行い、道路幅員を７メートルから５メートルへ変更し、また、現在整備している路線の完成を平成２６年度とする前期期間と平成２７年度以降着工予定の後期期間とする全体計画の見直しを行い、現在に至っております。

県道とグリーンライン林道の取り付けにつきましては、当初計画の武生持方線の竜神川に橋をかけるルートは膨大な工事費がかかることから、県道３３号線の境橋北側からの取り付けにより約８億円程度の工事費になることや、早期開通の要望が大きいことから、竜神大吊橋周辺、竜神ふるさと村までの周遊機能の拡大を図る路線に変更し、昨年度から工事が進められております。

現在の進捗状況につきましては、武生持方線が計画１万３９０メートルのうち７１．９％に当たる７，４７３メートルが完了しております。水根持方線につきましては、全体計画６，９６２メートルのうち６２．２％の４，３３３メートルが完了し、常陸太田市分は１，０８０メートル、そのうち９７．２％の１，０５０メートルが完了しております。また、当初計画のトンネルからオープンカット施工への計画変更箇所につきましても、ハイキングコースの安全対策及び案内標識までの整備が完了しております。

なお、完了予定につきましては、目標である平成２６年度までに県、近隣市町村及び関係者と協議のもと、また地権者から協力が得られるよう早期に地元説明会などを開催し、事業の推進に努めてまいります。

以上です。

○後藤守議長 建設部長。

〔鈴木典夫建設部長 登壇〕

○鈴木典夫建設部長 国道４６１号の進捗状況についてでございます。県の事業で整備が進められております国道４６１号の進捗状況でございますが、水府・里美拡幅工事につきましては、常陸太田市上高倉町から折橋町までの約７．２キロメートル区間について、平成１３年度から整備が進められているところであります。上高倉町から下高倉町までの約３．８キロメートル区間を優先区間として整備をしております。これまでに湯草工区、坂下工区及び坪・馬次工区の一部の約２．６キロメートル区間について供用しているところでございます。

坪・馬次工区に残る約１．２キロメートル区間につきましては、相続等の関係で用地取得が難航しているところですが、現在早期取得に向けた相続の手続、交渉に努めるとともに、用地取得が完了した箇所から整備工事を進めているところでございます。引き続き、坪・馬次工区の早期供用に向けて事業推進を図るとともに、東西軸である下高倉、折橋工区約３．４キロメートル区間につきましても、坪・馬次工区の進捗状況を勘案しながら整備時期を検討していくとこのことでございます。市としましても、早期完成に向けて地元対策等の協力をしてまいりたいと考えております。

次に、生活道路の整備について、山田川にかかる桜沢橋のかけかえ工事と県道３３号線への取り付け道路の改良工事についてでございます。桜沢橋のかけかえ工事についてでございますが、桜沢橋を含む橋長１５メートル以上の永久橋につきましては、現在橋梁の補修及びかけかえ費用

の軽減と平準化を図りつつ、橋梁の安全性、信頼性を確保することを目的とした国の橋梁長寿命化修繕計画策定事業補助制度を活用し、整備することとしております。本年度に市内全体125橋の策定が完了しますので、この策定結果に基づき、来年度は長寿命化修繕実施設計を作成予定でございます。26年度から順次修繕工事に取り組んでまいりたいと考えております。

また、桜沢橋の市道水8-5713号線が接続する県道33号線、県道常陸太田大子線につきましては、取り付けが鋭角で利用しづらい状況でございます。桜沢橋のかけかえ及び市道の改良工事につきましては、地元からの要望があることを踏まえた上で、この地区には未整備の市道もございますので、桜沢橋の整備時期や道路の利用状況、関係機関との協議、費用便益も考慮した地域全体の道路整備計画を策定し、今後改良工事につきましては、地元の皆様方のご意見をいただくなどして進めてまいりたいと考えております。

○後藤守議長 8番菊池伸也議員。

〔8番 菊池伸也議員 質問者席へ〕

○8番（菊池伸也議員） ただいまは、全般にわたり事細かなご答弁ありがとうございます。1点ずつお伺いしたいと思いますけれども、答弁を聞いてみますと、現在進行中、あるいは検討中ということが大部分でありましたので、2回目は要望のみにとどめておきたいと思っております。

最初に、1点目の観光行政の確立についての交流人口の拡大についてと新たな施策の取り組みでは、本市の観光資源を最大限に利用され、新しい魅力あるメニュー作りを検討し、体験・滞在型の観光商品の開発を積極的に進め、茨城空港を利用し海外からも誘客を図り、交流人口の拡大を図るということで、大変前向きであると考えております。大いに安心をしました。そこで本市の観光事業のあり方が5年先、10年先にはどのような形で定着していくのか、しっかりと先を見据え、新たな取り組みの目標設定をされ、ご努力されることを要望しておきます。

次に、2点目の竜神大吊橋の魅力アップに係る取り組みであります。今年度の事業として、アンカレッジに描かれている絵、あるいは竜神大吊橋の塗りかえ等について、これからいろいろな意見を聞きながら進められていくことと思っております。お客さんにとって喜んでいただけるような仕上がりになるようご努力をお願いします。新たな展望スペースの整備であります。奥久慈グリーンライン林道の開通に合わせ、ご検討をされるということでもありますので、ぜひとも大吊橋の魅力アップのために実現されることを要望しておきます。

次に、3点目の佐竹寺及び馬坂城跡観光用駐車場とトイレの整備についてであります。最初から問題点があるようでございます。大切な観光資源でもありますので、さらなるご努力を要望しておきます。

次に、観光行政の中の幹線道路の整備についての1、2については理解をいたしました。この中で国道461号についてでありますけれども、現在着々と進められておりますが、水府・里美間については、山頂部に至る部分での工事について触れられておりません。先ほど奥久慈グリーンラインで水根持方線が当初トンネルの予定であったのがオープンカットで工事が進められたということを考えますと、この国道461号についても費用の点からオープンカットで多分進められるのではないかと考えております。しかしながら、ここは幹線道路でも非常に大切な道路であ

りまして、冬場の凍結等を考えれば、ぜひ低い位置からのトンネルの工事を要望していただきたいと思いますので、県のほうにも要望をお願いいたします。

2点目の生活道路の整備についてであります。山田川にかかる桜沢橋のかけかえ工事と県道33号線への取り付け道路の改良工事についてであります。来年度橋梁長寿命化修繕計画を策定する予定とのことですので理解はしましたが、ご存じのように、今年度新たに要望書が提出されていることでもわかるように、そこに住んでいる人たちにとっては切なる願いでもあるわけですね。ぜひ執行部の現況確認を要望してこの質問を終わらせていただきます。